

1000円
以上！

最賃裁判ニュース

NO.27

2015年

11月13日

神奈川県労働最低賃金裁判事務局 TEL045-212-5855 ブログ「最賃裁判ニュース」で検索

第22回裁判報告

弁護団が4年半の裁判の到達点を総括して最終弁論 判決日は、来年2月24日（水）13：45～

11月9日（月）14時から14時30分にかけて第22回裁判が開かれました。原告は14名が参加し、傍聴支援は北海道、東京、栃木、千葉、全労連や生協労連中央からも含め、約160名が詰め掛け、81席（3席は報道関係者）の傍聴席は満杯となりました。

原告側弁護団が、この4年4ヶ月にわたる裁判での弁論を総括し、102ページにもおよぶ最終準備書面を提出し、法廷で5人の弁護団から意見陳述がされました。これに対し被告国からは、27ページの最終準備書面が出されましたが、大半は「門前払いしろ」という主張のみ。最後の10ページで「国に広大な裁量権がある」、「手続きは踏んでいる」、「国の計算式では生活保護と最賃の逆転は解消されている」と述べるのみで、かみ合った反論は全くありませんでした。

注目の判決は来年の2月24日に決定。裁判の勝利に向けて、「公正判決を求めるはがき・署名」の取り組みを徹底して行っています。全国からの熱いご支援をよろしくお願いいたします！

裁判後のデモ行進。100人を大きく超える参加者が米国と連帯、アピール！



石井裁判長は生存権を侵害している最賃を改める歴史的判決を

裁判、デモ行進後に開かれた報告集会は熱気こもったものになりました。前に並んだ原告らは、自らの置かれた状況を語り、「今の私たちの置かれている状態は自己責任の結果ではない。国の異常な制度の結果である。これを放置するのではなく一刻も早く救済してほしい。裁判所が歴史的画期的な判決を下してほしい」と口々に訴えました。

報告集會に参加した全労連の斉藤寛生氏は「全労連としても裁判勝利に向けて、あらゆる支援を行っていく」と強い決意を表明しました。



裁判報告集會

19. 2%の影響率！最賃 18 円アップの神奈川での驚愕すべき実態

神奈川労働局が 11 月 12 日に明らかにしたところ、10 月 18 日改定の神奈川最低賃金 887 円→905 円（18 円アップ。中央最低賃金審議会答申の引上げ目安 19 円より▲1 円下回る）により、賃金引上げに至った労働者の割合は、全労働者の 19.2%にも上ることがわかりました。

これは神奈川県内約 300 万人の労働者のうち、約 60 万人が最低賃金ぎりぎり働いている事実を示すものです。一昨年も同じ 18 円アップで影響率は 17%で全国一でしたから、神奈川県が全国で最も多く最低賃金ぎりぎり働き、生きる労働者が多いことを物語るものです。最賃が千円以上になれば当然、100 万人以上の県内労働者の賃金引上げになるでしょう。最低賃金の引上げのインパクトは、まさに社会的賃上げそのものであり、3 割にも及ぶ非正規低処遇の労働者の直接的処遇改善に及ぶ巨大なものです。



全国からのご支援有難うございます！ 裁判勝利に向けて「はがき・署名」の取り組みを強めます

最低賃金裁判で最大の争点は、①ごまかしの「生保・最賃比較計算式」を改めること、②憲法 25 条と最低賃金法 9 条 3 項に違反する国の行為＝最低賃金の低額放置を断罪すること、にあります。今年の地方最賃引上げ結果の「中央目安 0～1 円アップの壁」を打開し、全国での大幅引き上げを実現する上で、裁判勝利は決定的に重要です。つきましては、下記の行動へのご協力をお願いいたします。

11 月 9 日時点の全国の皆さんからののはがき・団体個人署名のご協力状況は右のとおりです。有難うございます！

神奈川県内は、はがき 6000 枚以上が集まっています。

●「石井裁判長宛 公正判決を求める要請書」団体・個人署名に最大限のご支援をお願いします！

来年 2 月 24 日判決日に向けて、最後の最後まで取り組みます。全国へは全労連を通じたお願いと、神奈川労連から直接のお願いがいつているかと思えます。

※お手数ですが必要枚数を増し刷りいただき、最大限のご支援のほど、よろしくをお願いいたします。

●お手元に署名が無い場合、ブログ「最賃裁判ニュース」からダウンロードしていただくか、表紙の神奈川労連まで問い合わせください。お送りします。

	はがき	団体	個人
東京地評		7	22
全国一般東京地本		21	38
東京土建一般労組		1	5
岐阜県労連		6	7
五反田法律事務所		1	5
目黒区労連		1	8
JMU I 日本アイビーエム分会		1	21
自治労連愛知県本部			47
首都大学東京労組		1	9
三重県労連		7	25
岩倉市職員組合		1	60
名古屋港管理組合労組		1	144
蒲都市職員組合		1	
生協労組おかやま		2	
福島生協労働組合		1	
練馬労連		1	
JMIU 東京地本		2	
化学一般全関東地本		1	
文京区労組協議会		3	
愛知県労連		15	139
宮崎県労連		12	349
中央社保学校	138		
全日本年金者組合		1	27
全教	18	3	60
帯広地区労連		1	14
小計	156	91	980